

[講演会]



# 人類の原点から エネルギー問題を問う



自殺のない社会がいまもあります。その社会や生活様式、彼らの依拠する自然界をもとに、いまのエネルギー問題をみなさんと考えます。

現在のエネルギー問題は、先進国を中心とした便利で豊かな現状の生活を維持/継続することを大前提としています。気象変動対策として化石燃料による火力発電や放射能による危険を伴う原子力発電ではなく、再生可能エネルギーでその分代替させようという発想です。しかしながら再エネには原材料の調達やその設置に関わる諸問題が存在します。西原先生の30年にわたる電気やエネルギーをほとんど使わないアフリカでの生活を紹介していただき、そのような社会を長年営んできた人類の原点とも言える先住民族のあり方からエネルギー問題を問い直します。

- ・日時：2022年6月12日（日）13:00～15:00
  - ・場所：石狩市花川南コミュニティセンター  
2階 和室1・2
- 石狩市花川南6条5丁目 ☎0133-73-5300
- ・講師：星槎大学教授 西原 智昭 氏
  - ・費用：500円（資料代ほか）

【講師プロフィール】コンゴ共和国などアフリカ熱帯林地域にて、野生生物研究、国立公園管理、森林保全に、先住民族と共に30年間従事。現在、星槎大学共生科学部教授、野生生物保全協会（WCS: Wildlife Conservation Society; 本部ニューヨーク）自然環境保全研究員。京都大学出身、理学博士。人類の起源と本質、文化多様性と地球環境保全、先住民族や日本列島人、エシカル社会を問う。著書『コンゴ共和国～マルミミゾウとホテルの行き交う森から（増補改訂版）』（現代書館2020年）など



主催・問合せ：石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会  
安田 携帯 090-6211-1602

<https://windturbine.lbcc-alumni.jp/index.shtml>

HPをぜひご覧ください。海外の動画なども見ることが出来ます。

再エネの設置に関心のある方、再エネ問題に関わっている方、エネルギー問題全般に興味のある方など、多数のご参加をお待ちします。